

令和5年度

下水道民間研修 参加募集案内

(設計コース)

【新設】オンデマンド研修



地方共同法人 日本下水道事業団 研修センター

【オンデマンド研修】設計コース

維持管理情報を反映した計画と実施設計 (処理場・ポンプ場編)

- 1. 対象者** 建設コンサルタントの実務担当で、ストックマネジメント業務に携わる方向けの研修。
下水道における基礎的な知識を有し、ストックマネジメント業務の経験があり、成果品の体系などがある程度理解されている実務担当者(管理技術者含む)の方。
- 2. 目標** 維持管理情報(水質、運転方法他)・制限・制約等の抽出とその分析・判断等について考え方を学び、ストックマネジメント計画や設計における実務設計作業に役立てる。
- 3. 配信期間** 令和5年9月13日(水)～令和5年10月31日(火)の間の水曜日から翌週火曜日までの7日間×7回
- 4. 受講料** 16,500円(税込)
- 5. 申込期限** 各回、配信開始日の2週間前まで
- 6. 視聴時間** 約3時間
- 7. 標準カリキュラム**

| 視聴時間 | 教科名 | 内容 |
|-----------------------|---------------------|--|
| 約1時間 | ストックマネジメントにおいて必要な調査 | 施設情報の収集・整理について |
| | 維持管理情報について | 維持管理情報における注意点について |
| | 水質情報・運転情報等の活用・分析 | 水質データ、運転方法等の分析・グラフの工夫について |
| | 固形物収支の確認 | 計画上の固形物収支と収集した運転情報の乖離の確認からの設計手法について |
| 約2時間 (うち事例紹介を約1時間) | 改築計画・改築設計への反映 | 維持管理情報を反映した計画と設計の重要性を紹介 ・事例)実際の運転情報から何が読み取れるかなど事例紹介 ・制約・制限事項の設計への反映 ・施設管理者・維持管理者との対話の重要性と有効な資料 ・計画と実施設計の検討境界線の事例紹介・何を押さえるべきか |

- ・上記は標準的なカリキュラムであり、実施カリキュラムは予告なく変更する場合があります。
- ・オンデマンド研修は「クラストリーム」(動画配信システム)を使用して行います。
- ・事前に日本下水道事業団のホームページに掲載している確認用動画を視聴の上、お申し込みください。
- ・録画や申込者本人以外の視聴は禁止しています。(参照:オンライン研修受講規約)

【オンデマンド研修】設計コース

設備設計初心者のための下水道設計の取り組み方 (処理場・ポンプ場編)

- 1. 対象者** 建設コンサルタント等のプラント設備設計担当者または設備職専門外の方向けの研修。設備設計未経験者（設備設計部門に配属されて経験が浅い方など）～設備設計経験者（中級者）まで。
- 2. 目標** 下水道施設における機械設備・電気設備の設計に必要な基本的な知識及び考え方を学び、設備設計による環境負荷削減等への効果などから設備設計の魅力を紹介する。（管渠は含みません）
機械・電気の基礎的な範囲から制御の考え方、これからどのように設計に取り組むべきかを専門用語を減らし、専門分野外の方でも理解できるような構成。
この研修受講で、機械・電気の各種イメージを理解し、設備設計が難しいという先入観を少しでも払拭するなどにより設備設計をより理解したくなる、興味を高めることを目標とする。
- 3. 配信期間** 令和5年9月13日（水）～令和5年10月31日（火）の間の水曜日から翌週火曜日までの7日間×7回
- 4. 受講料** 27,500円（税込）
- 5. 申込期限** 各回、配信開始日の2週間前まで
- 6. 視聴時間** 約5時間
- 7. 標準カリキュラム**

| 視聴時間 | 教科名 | 内容 |
|------|--------------------|--|
| 約40分 | 下水道の目的・潜在能力 | 下水道の目的や潜在能力を紹介 |
| | 下水道で使われる設備 | どのような機能・設備が使われているか |
| 約2時間 | 設備設計・理解のために必要な基礎知識 | 機械・電気それぞれの基本的な原理や下水道で使われる設備を事例とし、イメージしやすい資料で基礎知識を学ぶ |
| 約1時間 | 運転・処理を考慮した設備設計 | 汚水・汚泥性状や、各システムの仕組み・イメージから、それをどう考慮して設計するかを学ぶ |
| 約40分 | 設計の効果 | 事例) 設備設計でどのような効果が得られるかを「ヒトへの配慮：使いやすさ」「環境配慮」「省エネ」などの項目で学ぶ |
| 約50分 | 設備設計 | 何に留意していくか、良い設計とはどのようなものか、設備設計における取り組み方を学ぶ |

- ・ 上記は標準的なカリキュラムであり、実施カリキュラムは予告なく変更する場合があります。
- ・ オンデマンド研修は「クラストリーム」（動画配信システム）を使用して行います。
- ・ 事前に日本下水道事業団のホームページに掲載している確認用動画を視聴の上、お申し込みください。
- ・ 録画や申込者本人以外の視聴は禁止しています。（参照：オンライン研修受講規約）